

3. 学級でもあるだろう姿

担任をしていて、1人が「学級レクをしたい。」と言うのと、一斉に全員が「学級レクをしたい。」と言ったり、どの児童生徒に個別で聞いても「学級レクをしたい。」と言ったりするのを比べると、担任として感じるインパクトは違うと思います（1人の意見を大切にしないのかという観点ではなく、数のインパクトという観点での話）。そして、担任は、あれこれ考えるでしょう。しかし、日程の問題があれば、「すぐにはできないけど、○日ならできる。」と妥協案を提示するでしょう。また、行う理由や目的が重要なので、いわゆる頑張ったご褒美としたり（こうした条件提示が適切かは議論の余地有り）、目当て作りや運営を子どもでできるように準備したりとしますよね。こうした一連の中にも、数のインパクトや、緩い意味での「交渉・要望」と従業員、経営者両者の動きが見えるわけです。学校こそ小さな社会なのです。